



石神井南中学校 学校だより

令和 3年度第 10月号
発行日 10月29日(金)
練馬区立石神井南中学校
校長 田邊 克宣

開校60周年記念式典を終えて

校長 田邊 克宣

変わりやすい秋の天気ですが、幸いにも、運動会予行、本番、そして周年式典の3日間とも秋晴れに恵まれました。

開校60周年記念運動会は、生徒たちの思いが見事に結実し、大成功を収めることができました。一週間後の60周年記念式典では、体育館で参列した3年生は背筋を伸ばし、微動だにせず、その態度は実に立派なものでした。代表生徒による学校紹介も、短い準備期間の中、よく工夫され、堂々とした発表に、石南中生としての誇りがうかがえました。周年記念歌は、急な録音であったにも関わらず、吹奏楽部の演奏に合わせ、3年生が心を込めて歌い、ご来賓の方々からお褒めの言葉を頂戴いたしました。1.2年も共に、各教室でしっかりとリモート参加し、次の60年へ向けて大きな一歩を踏みだしました。

以下に、当日の式辞を載せますので、10年に一度の式典の意義等について思う^{よすが}縁としていただければ幸いです。

[校長式辞]

練馬区立 石神井南中学校 開校六十周年記念式典のために、周年行事实行委員会の皆様と共に、全校生徒と保護者、教職員に加え、三百名を数えるご来賓の方々をお招きする準備を、二年前より進めてまいりました。しかし、今般の感染症予防対策のために、規模、内容ともに縮小し、当初予定していたものから大幅に変更いたしました。こうして記念式典を実施できることを幸いに思います。

さて、生徒諸君。今日は石神井南中学校の誕生祝いです。君たちは、石南中を好きですか？ 私は、大好きです。それは、抽象的な“学校”という意味合いではなく、君たちが毎日通い、仲間や先生たちと過ごす学校生活そのものに対する思いです。

忘れもしません、昨年二月二十七日。いよいよ十二時間後に二年生スキー移動教室のバスが出発するという時、日本全国の学校が一斉休校となり、急遽、移動教室中止の電話連絡網を全家庭に回しました。その後三カ月にわたり、生徒のいなくなった学校は、まるで抜け殻のようでした。

様々な対応を経て、ようやく学校が再開できてからも、感染予防のための種々の制約が今も続いています。そうした中、石南中生の君たちは、変わらず、そして、以前にもまして、気持ちのよい挨拶を交わしながら、元気に、真面目に、毎日を過ごしてきました。先週の運動会も、自分たちで作りに上げるという気概の下、何事にも一生懸命という伝統をしっかりと受け継ぎ、六十一年目の、新たな歴史の一頁を記しました。君たちが生き生きと過ごす姿を見るにつけ、生徒あつての学校であることを改めて思い、教育活動を再開できたことを、心よりうれしく思います。

こうした活動をできるのも、全て、六十年前、この地に本校が誕生したところから始まったのです。この体育館も、今から五十八年前、昭和三十八年にできたものです。プールは昭和四十五年、校舎の完成は昭和四十六年と、開校してから現在の形が整うまでに、十年もの月日を費やしました。当時の生徒たち、そして、これまでに卒業していった九千名を超える先輩たちは、この同じ場所で、どんな思いで学校生活を送ったのだろう。おそらく、君たちと同じように、日々、笑いながら、悩みながら、毎日を一生懸命に過ごし、未来への

夢を思い描き、巣立っていったことでしょう。

六十年前には、多分、思いもしなかったであろう未来の世界を、現在、我々は生きています。今、この体育館の様子を、インターネットを介して、一、二年生がそれぞれの教室でリアルタイムに参列することができる学校など、誰が想像したことでしょう。より高みを目指す、人の願いと、実践が、よりよい未来を創っていくのです。

六十年前、隣の石神井中学校の過密から、子供たちの教育環境を整えるために、本校開校にご尽力くださった練馬区行政の方々。未来への夢を託して、学校用地として土地を提供してくださったの方々。常に学校教育の発展を図り、最近ではICT教育の充実を推進してくださった練馬区長をはじめ、区議会、教育委員会の方々。練馬区立中学校と、本校生徒のために、労を惜しまず職責を遂行してこられた練馬区中学校校長会並びに歴代校長先生方、そして教職員の皆様。石南中の子供たちを、豊かに育むために、惜しまぬご協力をくださった地域の方々に、歴代PTA、同窓会、保護者の皆様。そして、六十年の長きにわたり、生徒たちを見守ってきた、この校舎を建造し、補修を加えてくださった方々のことも、忘れてはいけません。こうして、卒業生の何倍もの数の方々の力を得て、生徒たちの学びと、生活が支えられ、ここに誇れる石南中を作り上げてきました。

伝統を引き継ぎながら、時代にふさわしく改定した「教育目標」と、生徒の思いを受けた「新しい標準服」。そして、この後披露する「周年記念歌」と共に、石神井南中学校は、次の六十年への道を歩み始めました。これまで、「我が校 石南中」として、本校を応援してくださった全ての皆様に感謝申し上げるとともに、生徒、教職員共に、今後さらなる母校の発展を誓って、開校六十周年記念式典 式辞といたします。

〈お願い〉

朝の欠席等連絡について：本校では朝8:15～30の間に「教職員打合せ」を行っております。

誠に恐縮ながら、電話連絡につきましては、その時間帯を避けていただきますようお願いいたします。

〈今後の行事予定〉

新型コロナウイルスの感染状況については、まだまだ予断を許さない状況です。

感染防止を第一に考え、現段階での予定は下記のとおりです。

詳細については、決定次第お知らせいたします。

- 第3学年 ・修学旅行 3/19(土)～21(月)
- 第2学年 ・スキー移動教室 2/24(木)～26(土)
 - ・校外学習 3月に延期
- 第1学年 ・校外学習 3月に延期
- 練馬区連合行事 ・陸上競技大会 中止
 - ・PTA主催 駅伝大会 中止
 - ・中学校生徒作品展 中止
 - ・小中学校連合書初め展 中止 ※各校内展示
- 都 ・公立学校美術展覧会 中止

●生徒会役員選挙●

10月8日、新生徒会役員を決めるための立会演説会と選挙が行われました。演説会は、今年も全校生徒が集うことを避け、一般の生徒は各教室で候補者の演説を聞くリモート形式をとりました。その後、区の選挙管理委員会からお借りした投票箱を各クラスに設置し、選挙管理委員立会のもと、投票が行われました。

約2週間の選挙活動の中で印象的だったのが「現役員が活躍する姿にあこがれて立候補しました」という言葉です。自分たちの学校を自分たちの手でより良くし、さらに地域や世界にも貢献しようという思いが脈々と受け継がれていることを実感しました。選挙管理委員の公平な運営も光りました。演説会当日では、オンライン上の不具合で映像が途切れてしまった候補者に、最後にもう一度演説してもらおうなど、臨機応変な対応も素晴らしかったです。

新役員のもと、後期の生徒会活動も楽しみです。



◆創立60周年記念第59回運動会◆

約半年前から準備していた運動会。2度の延期を経て、10月14日、満を持して開催の運びとなりました。

スローガンは『千載一遇～全ての人に「ありがとう」を～』。開催の喜びと感謝を体いっぱいに表現するかのようになり、選手は皆躍動しました。閉会式に臨む生徒の表情には、嬉しさや悔しさを包括する充実感がにじんでいました。

この成功は、「自分たちの手で行事を作り上げる」という気概で運営に携わった実行委員と、そんなリーダーに応えるべく協力した全校生徒の「成功させたい」という思いの結晶です。全力でプレーしたり、仲間に声援を送ったりして楽しむ姿が輝いていました。まさに生徒が主役の運動会でした。



★エール・ウィークの取組★

東京都の教育施策「子供輝く@TOKYO」の一環で、「エールウィーク」の取組を行いました。この取組は、生徒が様々な困難の中で生きるありのままの自分を認めるとともに、自らのよさや可能性に気づき、自己肯定感を高めることができるようにすることを目的としたものです。

本校では、1学年では道徳の授業の中でお互いの良いところ探しの取組で、2学年は「忘れないぞう」、3学年は「3行日記」でのやりとりで、生徒が自分の良さに気づき、認められるような機会を設け、支援する予定です。



★卒業生の話聞く会★

10月16日(土)3,4校時、3年生の進路学習の取り組みの一つとして、「卒業生の話聞く会」が開かれました。本校の卒業生で現在高校生から大学生までの先輩を4名お迎えして、受験期の勉強方法、志望校を選ぶ時のポイント、中学校生活の締めくくりにあたって大切なことなど、それぞれの体験に基づく生の声を聞きました。卒業生は、受験に関することから、その後のことまで、自分の言葉で熱心に語ってくれました。3年生にとって大変有意義な時間となりました。



～運動会のようす～



～開校60周年記念式典のようす～

